

1

学年

3観点に即した改善プラン

- ①知識及び技能
- ②思考力・判断力・表現力等
- ③学びに向かう力・人間性等

	最も課題のある観点	「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業における具体的な手立て	年度末評価(2月)
国語	①知識及び技能	漢字の読み書き、語彙の分野に課題が見られる。漢字テストについては週一回の漢字テスト、テストに向けた家庭学習、定期テストでのテストを行い、中長期的な記憶として定着することを目指している。語彙については、季節ごとの俳句創作、授業の最初の10分間での書き写し読書を行うことで、語彙の拡充を図っている。	漢字テストを定期的に行い、学習の定着を図ることができた。俳句会、書き写し読書を行い、語彙の拡充を図った。
数学	②思考力・判断力・表現力等	ICTを活用し、視覚的に考え方を比較参照し、よい点や改善点を、グループワークでの話し合い活動を通して共有していく。また、演習を通して、獲得した考え方をすることで、さらにその考え方を深めていくようにする。	グループワークでの話し合い活動を通して、考え方を共有することができた。
英語	②思考力・判断力・表現力等	ペア・グループでの発話活動を多く取り入れ、「聞くこと・書くこと」を通して必要な情報を選択する能力、ならびに学習した内容を「話すこと【やり取り】【発表】・書くこと」を通して表現する能力を高めることを目指す。	1人1台端末を使用し、グループでの協働的な活動を行うことができた。
社会	②思考力・判断力・表現力等	個別最適な学びと協働的な学びを実現し、主体的・対話的で深い学びにつなげていく。そのために、単元を見通した問の精査と、振り返り活動を充実させていく。	個別の学びと協働的な学びを取り入れた。振り返り活動が学びの調整につながるように改善していく。
理科	②思考力・判断力・表現力等	基本的な語句を確実に身に付ける中で、実験の考察を一つ一つ多角的に考え、班で共有し、班で考える中で、実験技術とともに理論的内容・想像力を深める。また、失敗した結果の中から、その理由を考察していく。	グループによる実験や話し合いを通して、得た結果から考察する力が付いた
音楽	③学びに向かう力・人間性等	主体的・対話的で深い学びを目指し、4人一組のグループでの話し合い活動を積極的に取り入れていく。また1人1台端末の活用によって、互いの取組を確認しながら、粘り強く取り組む態度を育む。	グループ活動や1人一台端末の活用によって、基礎的な内容の理解が深まった。
美術	②思考力・判断力・表現力等	主体的・対話的で深い学びを目指し、4人一組のグループ活動のなかで表現力を磨いていく。また1人1台端末の活用によって、自分や他者の作品を振り返り、粘り強く取り組む態度を育む。	グループ内で表現方法などを相談し、作品に生かす姿が見られた。
保健体育	②思考力・判断力・表現力等	男女共習の授業を行い、そのよさを意識して授業を充実させる。また、4人一組やグループでの話し合い活動を積極的に取り入れていく。 ICT 機器や学習カードを活用し、振り返りの時間をつくり、話し合い活動の場を意図的に設ける。	体育分野・保健分野ともに、端末を活用しながら課題を見付け、解決に向けて学びあうことができた。
技術家庭	技術②思考力・判断力・表現力等 家庭②思考力・判断力・表現力等	本立て製作では、自ら作りたい形を考えることに加え、4人一組やグループでの話し合いの場面を設定し、オリジナルの形をデザインしながら、考えを深めていく。 食の領域の様々な課題やその解決策について具体的に表現することが出来るように、自分で考える場面と4人一組のグループで取り組む場面を設定するとともに、ICTを活用することで学び合いを深められるようにする。	1人1台端末を活用し、グループ活動を行い、作品製作の情報共有をしながら学び合うことができた。

